

学校関係者評価委員会報告書

【審議内容】

令和4年度花巻高等看護専門学校自己点検・自己評価の結果に基づき、昨年度に続き本年度も自己評価値が低かった項目（下記質問1、質問2）を中心に、現状の確認と原因の分析をおこない、今後の対応・対策を検討した。さらに各教員のアンケートに対する回答で、問題点が指摘された項目（質問3、質問4）についても検討した。

質問1：

VII. 卒業・就業・進学

「進路選択状況と卒業後の活動状況の評価」について。これまで、卒業生の具体的な動向を把握していなかったが、今後どのように対応する予定か。

回答：

卒業生の進路やその後の活動についての情報は、在校生が進路を決定する上で重要である。本校としてもその重要性は認識しているが、これまでは具体的な動向調査は行っていなかった。そこで今年度は、卒業生に対しインターネットを用いたアンケートを実施する予定であり、またその具体的な方法等も現在検討している。今後改善する予定である。

質問2：

IX. 研究

「研究的姿勢の涵養」と「研究活動の保障」について。今後どのように研究活動を活性化するか。

回答：

各教員は研究の重要性を認識しており、興味のある研究テーマや方向性も定まっている場合もあるが、現体制では活動時間の確保が難しく、また具体的な研究方法等の取っ掛かりが見えにくい状況である。そこで、研究活動を推進するための組織づくりが必要であると考えている。具体的には、各種学会や勉強会への参加によりコミュニティーを拡大し研究意識を高める必要があると考えるが、その前提として時間の確保のための組織づくりが必要である。今後、組織の効率性を見直し、是非改善したいと考えている。

質問3：

III. 教育課程経営

「教員の教育・研究活動の充実」について。組織として教員の教育や研究活動の機会を保証しているか。

回答：

教員の専門性を高めるための教育研究の機会の提供の重要性を、組織として十分に認識し

ている。質問2にも関連するが、そのためには個人的な活動を行うための十分な時間の確保を保証する必要がある。そのために、現在、各学年の担任制度の見直し（複数の教員によるチーム担任制の導入により個々人の負担を減らすことで教育時間を捻出）などを行っている。今後徐々に改善すると考えている。

質問4：

V. 養成所に関する情報提供

「教育活動に関する関係者への情報提供」について。学生保護者への情報提供はどのように行われているか。

回答：

現在は、各学期の成績報告（送付）と保護者会を行っている。また、成績不良者については任意に保護者面談を行っている。しかし現在の頻度では、学生の学習状況について家庭側と学校側が連携するための機会が少ないと感じる保護者もあるようなので、今後どのように対応するかを検討中である。例えば、1年生の病院実習直後や戴帽式前後にも三者面談の機会があると良いのではないかと考えている。

その他の検討事項：

多くの他看護養成機関が存在する現状において、優秀な学生の十分数の確保が喫緊の課題である。そのためには奨学金制度の充実や、学生満足度の分析から得られる情報をもとに、より魅力的な学校体制を、情報の発信方法も含めた多角的な視点から模索していく必要性を感じている。今後、具体的な方法を検討していきたい。

【総括】

以上、検討したすべての項目について、学校側は問題点を分析してうえで現在改善に取り組んでおり、今後解決するものと期待される。

以上